

平成27年度 「大阪市統一テスト」における 南中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立南中学校
-----	----------

生徒数(人)	54
--------	----

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	59.7	60.0	59.8	50.3	60.1
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

問題にルビ打ちを必要とする生徒を含めて、外国にルーツを持つ生徒が多く在籍する本校の特徴を考えたとき、大阪市平均と比べて、今回は各人が相当頑張った結果が出ていると思われるが、それでもなお、文化・環境を背景とするような国語の問題や、専門用語が難しい理科では、それなりの結果となっている。学校としての平均点が問題とされる現実があるので、日本語能力の向上が必須である。

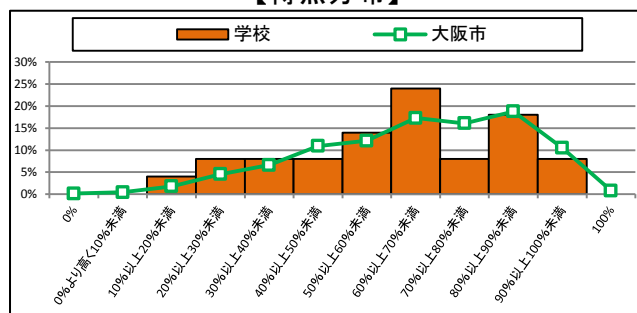
成果と今後取り組むべき課題

3回の公開授業と研究協議、20回の相互参観授業等を通じて、教員の授業レベルを上げることに努め、また学校元気アップや日本語教室の補習を利用することで、学習環境を整えてきた結果が出てきていると思われる。しかし、数値としてまだまだ不足する部分があるので、新たな機器・手法を使い、さらに上の結果を出していかなばならない。

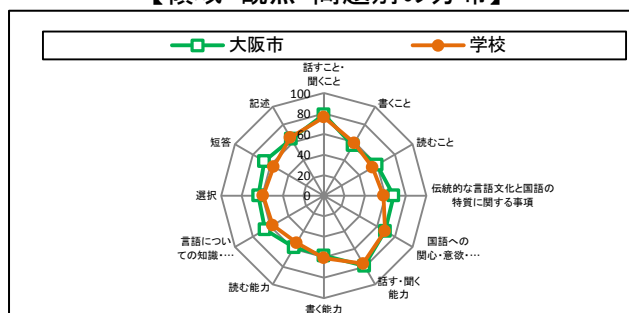
【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

【国語】

【得点分布】

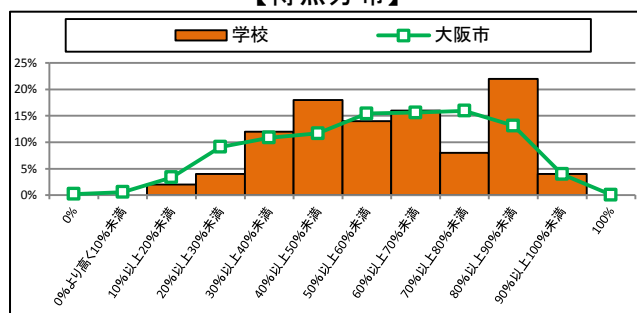


【領域・観点・問題別の分布】

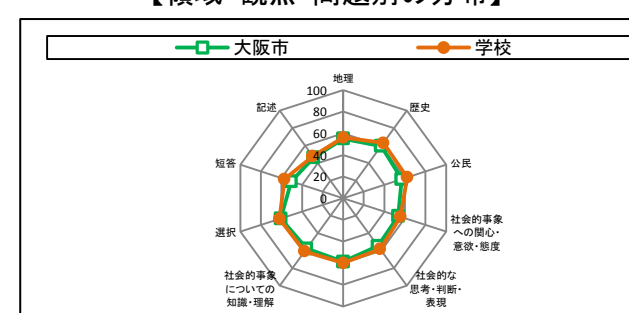


【社会】

【得点分布】

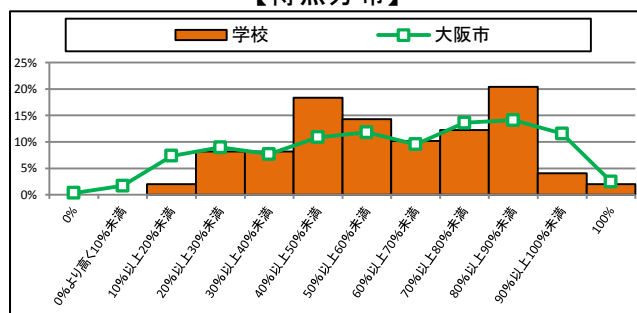


【領域・観点・問題別の分布】

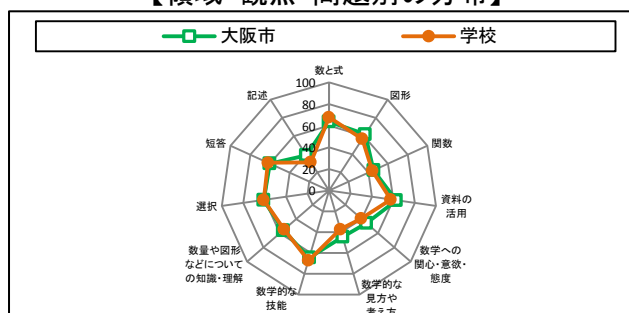


【数学】

【得点分布】

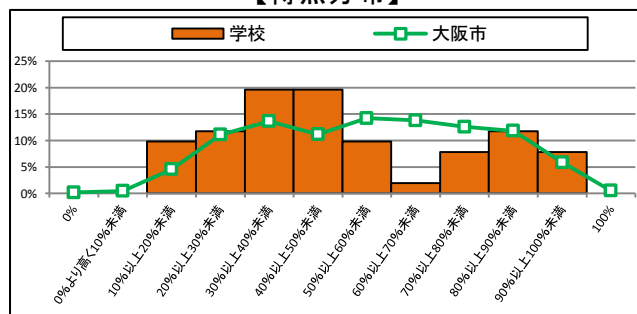


【領域・観点・問題別の分布】

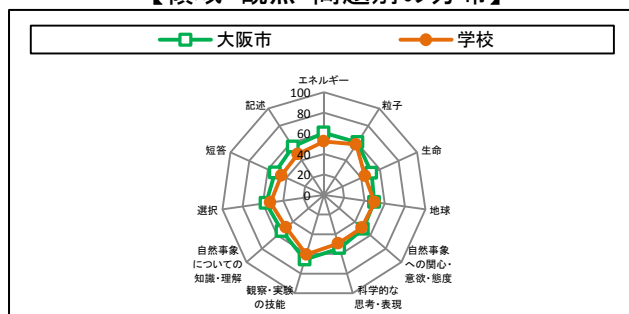


【理科】

【得点分布】

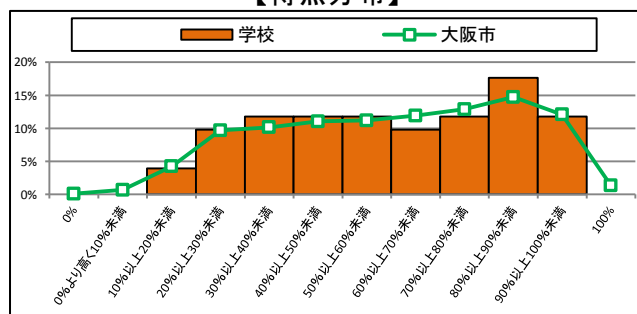


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

